

26. 葛飾区 鎌倉四丁目地区

① 地区の現況

指標に該当する 地区面積(ha)	連坦する 地区面積(ha)	合計地区面積 (ha)	不燃領域率 (指標)
15.8ha	0ha	15.8ha	43.8%

(面積内訳)

※不燃領域率は、
町丁目全体の数値

指標：鎌倉四丁目（15.8ha）

② 地区の概要

本地区は、葛飾区の東端部に位置し、周辺に京成小岩駅、地区内に商店街がある利便性の高い地区です。また、西側に柴又街道（補助第143号線）があり、地区内に小学校、区民農園、神社などがありますが、公園が少なく、幅員4m未満の狭あい道路や老朽木造建築物が多いことから、防災まちづくりに向けた方針を検討し、住民への防災に関する機運醸成の向上を図る必要があります。

③ 整備方針

本区が独自に行う旧耐震基準の木造住宅への耐震改修助成制度などを活用し、老朽建築物の耐震を促進していますが、本地区では、狭あい道路の拡幅整備、耐震診断及び耐震改修の支援なども行い、地域特性を踏まえた整備手法による建築物の不燃化・耐震化を促進し、地域全体の防災性の向上を図ります。

□ 防火規制

今後、新たな防火規制の区域の指定を検討していきます。

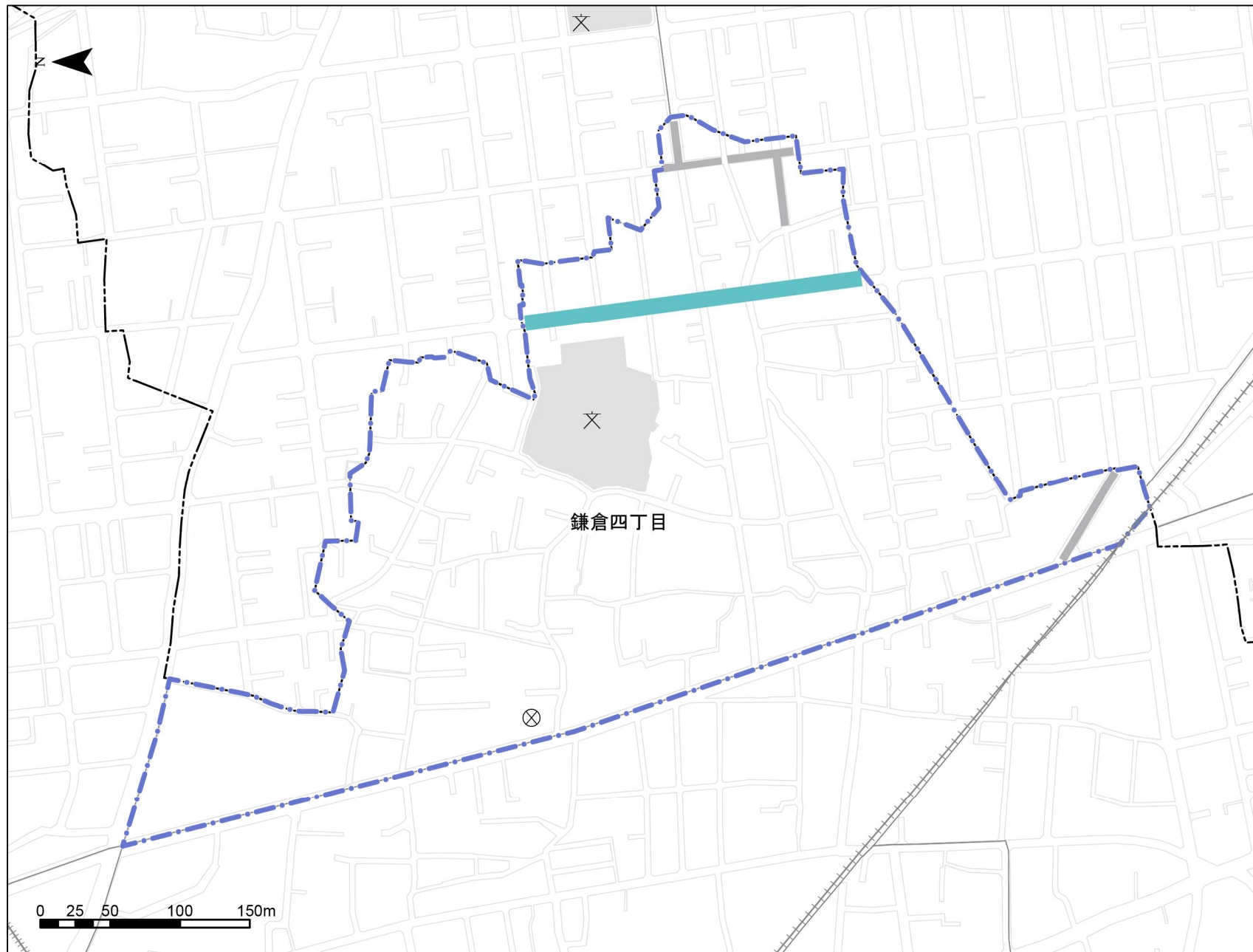
26. 葛飾区 鎌倉四丁目地区整備計画表

整備手法	整備対象	No	(注1) 事業区分	名称 【代表的な丁目】	(注2) 地区面積 (ha)	R7 年度末	R12 年度末	R17 年度末
事業	市街地整備	—	合意形成	鎌倉四丁目地区 【鎌倉四丁目】	15.8ha	予定	予定	予定
規制・誘導		—	—	—	—	—	—	—
耐震化		—	耐震診断 耐震改修	全域	—	実施中	実施中	完了

注1：事業区分はP405参照

注2：地区面積は防災環境向上地区の地区面積の概数。ただし、*は事業中及び実施中の区間又は区域等の範囲とし、整備計画図には防災環境向上地区のみ図示する。

26. 葛飾区 鎌倉四丁目地区整備計画図（道路網・市街地の不燃化）

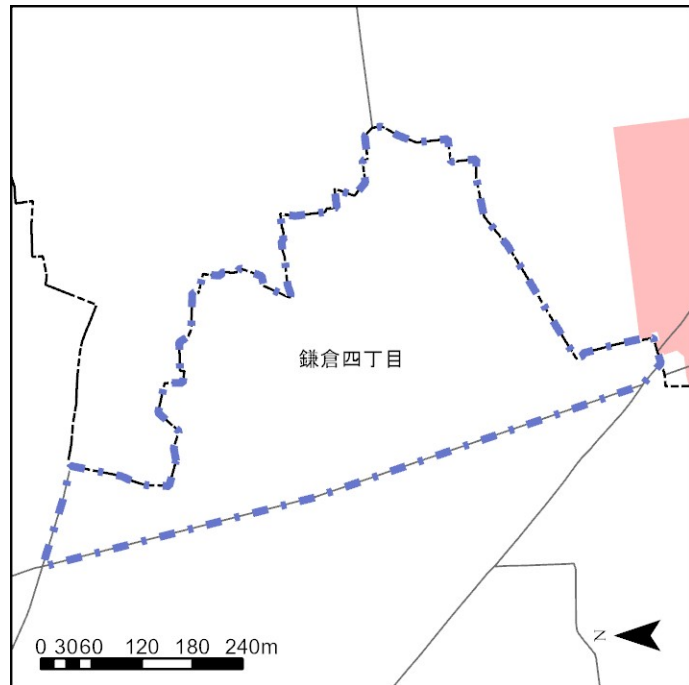


凡例

- 防災環境向上地区 (指標に該当する地区)
 - 区界
 - 町丁目界
 - 警察署
 - 小中学校
- 【その他の道路】
- 現況幅員6m以上
- 【無電柱化】
- 無電柱化・整備済路線

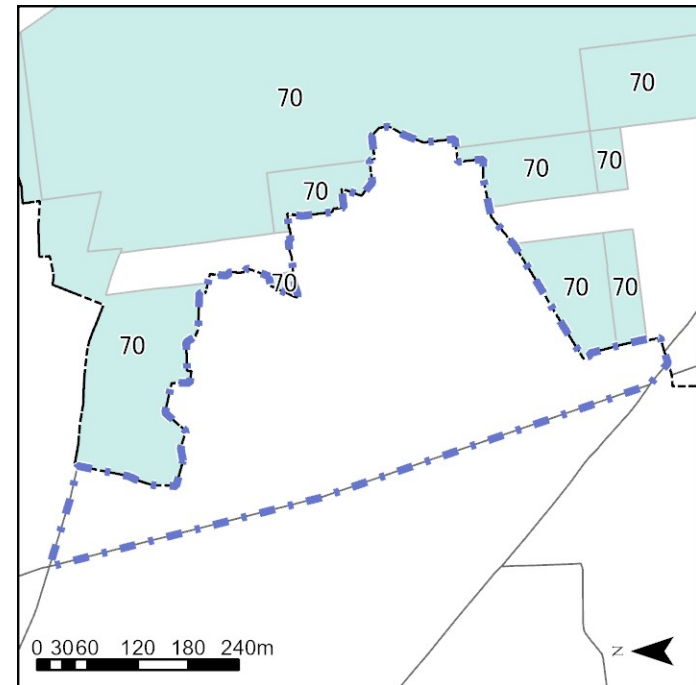
26. 葛飾区 鎌倉四丁目地区

防火地域と新たな防火規制区域



- 防災環境向上地区
(指標に該当する地区)
- 防火地域
- 町丁目界
- - - 区界

敷地面積の最低限度の指定状況



- 防災環境向上地区
(指標に該当する地区)
 - 敷地面積の最低限度の指定がある
用途地域
 - 防災環境向上地区
(指標に該当する地区に
連坦する区域)
 - 町丁目界
 - - - 区界
- ※数値は敷地面積の最低限度 (㎡)